

平成 28 年 6 月 20 日

美しが丘小学校地域防災拠点
運営委員会 委員 各位

美しが丘小学校地域防災拠点
運営委員会 会長 大川 敏彦

美しが丘小学校地域防災拠点運営委員会 総会 開催について

日頃より、美しが丘地域の防災活動にご協力を頂き厚く御礼申し上げます。
標記の件、下記の通り開催致しますので、ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席頂きますようお願い申し上げます。

記

- 1) 日 時 平成 28 年 7 月 2 日 (土) 午前 10 時～12 時
2) 場 所 美しが丘小学校 美小ルーム (2 階)
3) 議 題 1. 運営委員会名簿確認

2. 報告事項

平成 27 年度防災活動実施報告

- 平成 27 年度防災活動実施報告
- 平成 27 年度収支明細報告
- 平成 27 年度地域防災拠点活動記録報告
- 平成 27 年度震災時避難場所運営訓練実施報告

平成 28 年度防災訓練実施計画

- 平成 28 年震災時避難場所運営訓練実施計画

3. その他

- 器具点検等今後の予定について
- 横浜防災ライセンス講習 募集要項案内
- 今後の開設訓練マニュアル作成について
- 開設訓練DVDについて

防災拠点運営委員の方へは継続的にご案内を差し上げています。諸事情により案内が届かない、または案内が必要でない、場合は、事務局 上田までお申し出ください。

携帯：090-6674-9755 Mail：hitoshi_ueda@ktd.biglobe.ne.jp

以上

平成28年5月23日

青葉区地域防災拠点運営委員会
連絡協議会会長 様

拠点名: 美しが丘小学校
会長名: 大川 敏彦 印



平成27年度防災活動実施報告書

平成27年度助成金を以下の通り支出しましたので報告します。

事業項目	実施時期	参加人員	摘要	支出金額
防災訓練	平成27年10月17日	100	みんなで防災を考える日	0 円
	平成28年2月14日	77	医療拠点開設訓練	24,435 円
	平成27年度機器点検5回	5×10	発電機等メンテナンス	1,027 円
会議・研修	平成27年4月19日	3	今年度計画／会議	1,200 円
	平成27年6月6日	9	総会準備／会議	4,380 円
	平成27年6月20日	50	総会	0 円
	平成27年10月3日	8	防災を考える日準備／会議	3,880 円
	平成28年2月11日	30	医療拠点開設訓練準備会議	0 円
				円
				円
資機材の購入・補充	品名	数量	品名	数量
	簡易担架 スマートムーバー	2	ガードマンライト	4
	ガソリン缶詰 1リットル缶	4	カラーバトン(ガードマン用)	4
	三角コーン赤	10		
	純綿軍手	24		
				27,897 円
その他	事務用品、コピー代、通信費、交通費、印刷代			31,226 円
			支出合計金額	94,045 円

平成27年度地域防災拠点活動記録シート

平成28年5月16日

拠点名	美しが丘小学校	電話番号 901-3408	FAX 902-0842	携帯電話	携帯メール
会長	大川 敏彦		備蓄庫 設置場所	校庭 プレハブ	
学校長	畠山 真		収容率		
副校長	深瀬 須美子		その他	医療救護拠点	
区役所担当者	郷間 宏 区政推進課担当課長、秋山 高齢者支援課担当係長				
対象エリア	美しが丘1～3丁目				
エリア内自治会・町内会	たまプラーザ住宅一街区～七街区、一丁目中央、一丁目美松、一丁目北、一丁目南、美しが丘公務員住宅、シャープ多摩寮、美しが丘ドエリング、たまプラーザガーデンハウス、美しが丘中部				
平成 二 十 七 年 度		自己評価(どれか1つチェックしてください)		今後の課題等	
	避難場所運営方法等 打ち合わせ	<input type="checkbox"/> 満足 <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 改善の余地有		総会を含め年7回の活動の打ち合わせを実施。人集めの方法、機器メンテナンス方法、他の運営状況報告などを実施し	
	運営マニュアルの作成	<input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有		メンバーのアップデートなどを実施した。医療拠点開設のマニュアルにしていすべきだ。	
	研修会講習会の開催	<input type="checkbox"/> 満足 <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 改善の余地有		防災訓練実施時に簡単に説明を行った。青葉区医師会からの情報を聞くことができた。	
	防災訓練の実施	<input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有		年二回実施した。一回は三拠点合同で連合自治会とともに開催した。エンジンの起動訓練は五回点検作業として実施。医療拠点開設訓練はこれからである	
	防災リーダーの養成	<input type="checkbox"/> 満足 <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 改善の余地有		防災ライセンス取得者は、5名である。団塊世代を軸に幅広く呼びかけている。	
その他					

資器材の状態について

	発電機1	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし	<input type="checkbox"/> 異常あり(症状:)
1	発電機2	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし	<input type="checkbox"/> 異常あり(症状:)
2	発電機3	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし	<input type="checkbox"/> 異常あり(症状:)
3	発電機4	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし	<input type="checkbox"/> 異常あり(症状:)
4	発電機5	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし	<input type="checkbox"/> 異常あり(症状:)
5	エンジンカッター1	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし	<input type="checkbox"/> 異常あり(症状:)
6	エンジンカッター2	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし	<input type="checkbox"/> 異常あり(症状:)
7	移動式炊飯器	<input type="checkbox"/> 異常なし	<input checked="" type="checkbox"/> 異常あり(症状:パッキンが硬化している。)
8	カセットガス式発電機	<input checked="" type="checkbox"/> 異常なし	<input type="checkbox"/> 異常あり(症状:)

学校から貸与されている鍵について

	鍵名称	鍵番号	貸与本数	鍵所持者の役職
1	防災備蓄庫	43AM3C007	3本	会長、副会長、事務局長

平成27年度震災時避難場所運営訓練実施結果

記入日 平成28年5月16日
美しが丘小学校

日時	平成27年10月17日(土) 9時00分～13時00分
参加者	100人(内訳 運営委員40人、住民60人、その他 人) 全体では500人(美東小、美中、美小3拠点合同)
会場	美しが丘東小学校
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防災資機材取扱い訓練(炊出し) 2. 備蓄品展示 3. 起震車による体験講習 4. AED講習 5. 体育館での講習会(防災講話) 6. 各自治会による避難訓練と拠点への集合など
参加者の意見	体験できてよかった。美しが丘・みんなで防災を考える日と同日に実施したので参加しやすかった。
区役所総務課への申し送り事項	各自治会の防災訓練を実施して一時集合場所に集合した後みんなで防災を考える日に参加している。
連絡先	会長名 大川 敏彦 担当者名 上田 仁

平成26年度震災時避難場所運営訓練実施結果

記入日 平成28年5月16日
美しが丘小学校

日時	平成28年2月14日(日) 9時00分～13時00分
参加者	77人 (内訳 運営委員26名,市役所関係者 8名,一般参加者20名,医療関係者23名)
会場	美しが丘小学校
内容	1)災害時地域定点診療拠点、開設訓練
参加者の意見	医療関係者の説明を聞いて、我々住民が主体性を持って開設準備をしておかないと、医療関係者の方も動きにくいことが実感された。
区役所総務課への申し送り事項	医療拠点として認識すべき講習会などがあれば参加したい。
連絡先	会長名 大川 敏彦 担当者名 上田 仁

平成27年度震災時避難場所運営訓練実施結果

記入日 平成28年5月16日
美しが丘小学校

日時	平成27年度7月9月11月1月3月(第3土曜)16:00~17:00
参加者	10人 × 5回
会場	美しが丘小学校
内容	機器点検を行った 1. 発電機点検 2. エンジンカッター起動点検 →今年度は実施せず 3. 棚卸の実施 棚卸を1月に実施し、整理したが、格納場所の狭さがネックとなり整理された状態に見えない。また、通路もない状態でモノがあふれてしまっている。
参加者の意見	毎月すべきだ、という意見もあったが、奇数月第3土曜を確実に実施できてよかった。倉庫がもう少し広いと整理しやすい。
区役所総務課への申し送り事項	小学校内の空いた部屋などを利用できると整理できるので許可を得たい。
連絡先	会長名 大川 敏彦 担当者名 上田 仁

平成28年度震災時避難場所運営訓練実施計画

記入日 平成28年5月16日
美しが丘小学校

日時	平成28年10月15日(土) 9時00分～12時00分
参加者	全体で500人 (予定)美小地区は100人。3拠点合同で開催 運営委員以外への呼びかけ有り
会場	美しが丘中学校(会場は美しが丘小学校ではありません)
内容	1)資機材活用訓練 2)炊き出し訓練 3)その他訓練 4)災害に詳しい有識者の講演 美しが丘防災のつどいと、合同で開催予定
連絡先	会長名 大川 敏彦 担当者名 上田 仁

平成28年度震災時避難場所運営訓練実施計画

記入日 平成28年5月16日
美しが丘小学校

日時	平成28年11月27日(日) 9時00分～12時00分
参加者	100人 医療関係者含む。
会場	美しが丘小学校
内容	1)災害時地域定点診療拠点、開設訓練
連絡先	会長名 大川 敏彦 担当者名 上田 仁

平成28年度震災時避難場所運営訓練実施計画

記入日 平成28年5月16日
美しが丘小学校

日時	平成28年2月18日(土) 9時00分～12時00分
参加者	100人(予定) 運営委員以外への呼びかけ有り
会場	美しが丘小学校
内容	1)防災拠点開放訓練 2)炊き出し訓練 3)照明訓練 4)発電機駆動訓練 5)循環式地下貯水槽給水訓練
連絡先	会長名 大川 敏彦 担当者名 上田 仁

平成28年度震災時避難場所運営訓練実施計画

記入日 平成28年5月16日
美しが丘小学校

日時	平成27年度7月9月11月1月3月(第3土曜)16:00~17:00
参加者	10人(予定) 運営委員以外への呼びかけ有り
会場	美しが丘小学校
内容	1)機器点検
連絡先	会長名 大川 敏彦 担当者名 上田 仁

平成28年度

美しが丘小学校地域防災拠点運営委員会 機器点検実施開催予定（含む防災訓練日）

	開催日時	時間	開催場所
総会	平成28年7月2日 (土曜日)	10:00~12:00	美しが丘小学校 美小ルーム(2階)
第一回 点検	平成28年7月16日 (土曜日)	16:00~17:00	美しが丘小学校 防災倉庫前付近
第二回 点検	平成28年9月 18 日 (土曜日) 17	16:00~17:00	美しが丘小学校 防災倉庫前付近
防災のつ どい	平成28年10月15日 (土曜日)	10:00~12:00 講師 国崎信江 予定	美しが丘中学校
第三回 点検	平成28年11月 20 日 (土曜日) 19	16:00~17:00	美しが丘小学校 防災倉庫前付近
★ 医療防災 訓練	平成28年11月27日 (日曜日)	9:00~12:00	美しが丘小学校
第四回 点検	平成29年1月 15 日 (土曜日) 14	16:00~17:00	美しが丘小学校 防災倉庫前付近
防災訓練 除く医療	平成29年2月18日 (土曜日)	10:00~12:00	美しが丘小学校
第五回 点検	平成29年3月18日 (土曜日)	16:00~17:00	美しが丘小学校 防災倉庫前付近

水道局を中心

★ 学校側と協議が未だあり(変更の可能性あり)

★ 加えて、役員会、運営委員会 2~3回開催

★ 規約に則する。

熊本で調査 危機管理アドバイザー報告

防災に詳しい危機管理アドバイザーの国崎信江さん(46)は熊本県で避難所などを回り、状況を把握するための調査をしました。被災した人は何に困っていたのか、どんな備えが役に立つのか、報告してもらいました。



国崎信江さん

くにざき・のぶえ 阪神大震災を機に防災の研究を始める。「危機管理教育研究所」代表。文科科学省の防災科学技術委員会、文部科学省の防災科学技術委員会などを務める。

避難生活 何が役立つ?

最初の地震の発生から5日後の19日、東京から熊本県益城町に入りました。災害対策本部や、避難所になっている町保健福祉センターなどで話を聞き、整頓剤、かゆみ止めなどを渡しました。

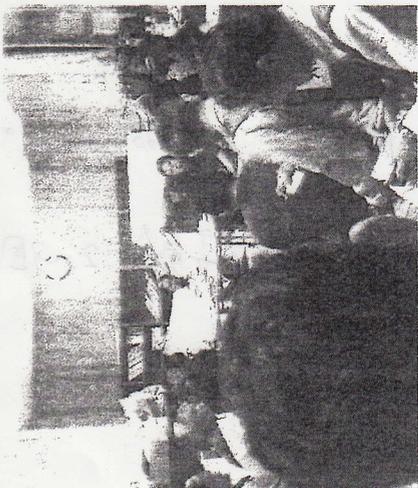
●お風呂

下水道が壊れたままのところが多く、避難所にはお風呂に入れない人がたくさんいました。中には自衛隊が設置したお風呂に入る人、下水道が壊れていない地域の銭湯に通う人もいましたが、それ以外ではなかなか入れません。

こんな時は、市販の体拭き用ウェットタオルがあれば、体が拭けます。赤ちゃん用のお尻ふきも体を拭くのに使えます。こうしたウェットシートを普段から買い置きしておけば、いざというときに役立ちます。

●トイレ

町内の大型屋敷場「グランメッセ熊本」の駐車場には、車中泊をして



国崎さんが呼びかけ、益城町の避難所のリナーダーによる全体会議が開かれた22日夜、国崎さん提供

トイレ代用紙おむつ 普段のおやつに野菜チップ

いる人たちの車が止まっています。話を聞くと、「建物が揺れるのが怖い」「プライバシーが保てない」という理由が多いようでした。

駐車場に仮設トイレもあつたのですが、「車から遠い」「夜、トイレに行くのは怖い」と話す女性もあり、行きにくさを感じていました。トイレを我慢したり、水分を控えたりすると、体に良くありません。

こんなとき、大人用の紙おむつで代用できます。わたしはこれまで、陸前高田やパキスタンなど国内外の被災地に行きました。いつトイレに行けるかわからないので、はいていました。今回もそうです。日本の大人用紙おむつはとても着け心地がよく、肌触りがいい。水分の吸収力も高く、夜間用なら6、8回分くらい吸収されます。捨てる時も小さくなります。

●食卓

避難所で配られる食事はご飯やパンなどの炭水化物に偏りがちで、肉や魚、野菜が不足気味です。「情報なんだよ」と話す人もいました。豚汁の炊き出しや牛丼チェーン店の炊き出しは列ができていました。

普段から自宅にコンドーフや魚、焼き鳥の缶詰を備蓄して食べるようにするとよいと思います。瓶詰のホワイトアスパラガスやトマト缶もいいですね。わたしは野菜ジュースや、お湯で戻す野菜のフリーズドライ商品、粉末のカボチャやコーンスープのもとを家に置いています。

●普段から

災害への備えとして、防災用品

や非常食をイメージするかもしれませんが。ですが、ウェットタオルや紙おむつのように、災害時に使える日用品はたくさんあります。例えば、花粉よけのメガネは粉じんよけにもなります。いつも食べているシヤムは適度な甘さなので、災害時に食べれば疲れをとってくれます。

ベランダ菜園も、立派な備えになります。プチトマトは、料理をせず

にそのまま食べられますよね。わたしには子どもが3人います。普段の買い物でも、「防災に役立つものはないか」という視点で商品を見ます。たとえばおやつを買つたら、ドライフルーツや野菜チップスなど、災害時に栄養を補えるようなものを選ぶようにしています。いつも「身の回りのもので、災害時には何が使えるのか」と意識することで、災害への備えを継続することが大事です。

(構成・沼田孝)

ひんしゅ

「バーバ、さよなら、元気でね」
大きく両手を振って、彼は空港のゲートの奥に消えていった。12歳、日英ハーフの私の孫だ。私の手元に小さなプレゼントを残して、英国に戻っていった。
昨年4月から1年間、私の家から地元の小学校に6年生として通った。漢字の厚い壁や初めての組み体操も苦労して乗り換え、卒業証書をいただき、自信と勇気之日本人の自覚も少し身につけた。親友もできた。
私は帰国後、プレゼントの包みを開けた。薄紫の地に白い桜の花が一面に散つた、美しい厚手だった。涙

彼と桜の木

患者を生きたる

長崎県佐賀市の美奈市の見玉

3039

ある日突然

全身やけど

ともいえるは
最後はた

2016年2月22日

1. 反省点を含むご報告

「見せる訓練」は過去にありましたが、今回が実質初めての開設訓練なので、「とりあえずやってみて、挙がった課題に今後取り組んでいく」と腹をくくって挑みました。それでもそれなりに準備はしたつもりだったのですが、冒頭から早くも混乱が始まり、当初のタイムスケジュール及び予定した訓練内容まで至りませんでした。経験不足、準備不足、人材不足の言い訳は今回限りに体制づくりを急ぎます。

一方、山本先生のオリエンテーションのおかげで、そうした準備不足や混乱の印象だけが残る訓練とはならず、自治会関係者ほか参加者からは、『得るものも多く、今後へ活かせる意義ある訓練だった』との声を多くいただき、拠点運営委員会としては気が引き締まる良い機会にさせていただけたことに感謝いたしております。

1-1 全体的な反省点

- ・自治会役員を含めて、訓練の前提である「災害時地域定点診療拠点の設営(開設)」ということ自体をよく理解していなかった。
- ・発災後、まず行うことは単位自治会による安否確認だが、そうした要援護者の安否確認から始まる訓練がなされてこなかった。
- ・訓練時の指揮系統が機能しなかった。
- ・防災備蓄庫から必要資機材を運ぶことなく、多くが事前に教室に運びこんだものを配分する設置訓練に留まった。
- ・来ていただいた医療関係者に、資機材の点検、机や椅子の配置など不足や不備をご指摘いただきたかったが、細部まで至らずに導線、教室の振り分け確認とオリエンテーションで終わってしまった。
- ・無線については運営委員が習得できていないので、アマチュア無線非常通信協力会のメンバーに運営委員になってもらう(あるいは運営委員から入会する)など対策が必要である。

1-2 成果

- ・拠点運営委員は開設に最低限必要な資材が拠点に揃っていることは確認できた(定点診療拠点開設用に新たに購入した資機材含む。診療中の旗は確認できず)。
- ・備蓄倉庫にはない机、椅子など、学校側から借用する物の場所や鍵の管理について確認できた。
- ・アンテナ設置と通信確認ができた。(⇨青葉区福祉保健センター、⇨拠点小型無線機(3台))
- ・定点診療拠点開設から搬送までの流れと部屋割りについて、医療関係者と確認、合意ができた。

診療受付→トリアージ【赤】【黄】→診療/薬品ブース→無線連絡→搬送待機→搬送
(昇降口) (家庭科室) (相談室) (保健室)

【黒】→相談室

【緑】→診療/医薬品ブース→帰宅/体育館

・山本先生によるオリエンテーションを自治会関係者ほか参加者に聞いていただき、高い関心をもって、自身の課題として受け止めていただけた。同時に住民末端までの周知が課題であることも認識いただいた。

・運営委員、自治会、学校、青葉区職員ほかで忌憚のない反省会ができた。

1-3 設置場所ごとの修正点、反省点ほか

① 診療受付(出入り口付近)

② トリアージ(昇降口)

- ・先ずはトリアージを行って受け付けるのが現実的なので同じ場所とする。
- ・ここに置くのは「受付表」「トリアージ・タグ」であり、「診療録」「無線連絡票」は診療室に設置する。
- ・医療患者以外の関係者も想定されるので、受付名簿は2種類必要。
- ・患者番号は「12-001」から「12-002」「12-003」・・・と通し番号を入れていく。
- ・「12」は美しが丘小学校防災拠点を表す。事前に記入しておいたほうがよい。
- ・給食室に隣接する廊下はトリアージには使わない。南側校舎体育館への通路として使用

③ 定点診療拠点本部室、通信室、診療室0【黒】(相談室)

- ・【黒】は診療しないので、診療室の名前は入れない。
- ・0待機室、安置室、などの名前にする。
- ・定点診療用の医薬品などが相談室と備蓄庫に分散しているので集約する方向で検討する。
- ・医薬品棚の鍵管理を再度学校と確認する。(これについては、それぞれの拠点と学校との取り決めによるが、他拠点の例として校長先生と拠点長間で協定を結び、拠点側でも開錠できる取り決めをしているところもあるとのこと。これについては、当校皇山校長先生から、「震度5強以上で、いつでも30分以内に学校に来られる職員を配置していること、警備会社のセキュリティシステムが稼働している、夜間の発災では明るくなるまで開設しないことなどから現状でよい」との意見あり。)

④ 診療室Ⅰ【赤】(保健室)

- ・この部屋では【赤】【黄】搬送待ち患者の待機場所として使用するのが現実的
- ・搬送患者待機室のような名前にする。
- ・ここでは医者は待機しないので、家庭科室で一括して診療するのが現実的。

⑤ 診療室Ⅱ【黄】診療室Ⅲ

⑥ 【緑】薬局ブース(家庭科室)

- ・昇降口でトリアージした患者は次にここで受診する。広いので【赤】【黄】【緑】とも受診できる。
- ・診療後【赤】【黄】の人は、隣の保健室で搬送待ちの患者として待機してもらう。
- ・診療室、薬局ブース、の名前にする
- ・備蓄庫から診療道具を運び入れておく。筆記用具など一般的な文具類も揃えておく。

⑦ 廊下

- ・診療待ちのスペース兼搬送待ちのスペース

診療順序については昇降口のトリアージで【赤】や【黄】と判定された患者が出た場合は、【緑】の診療を中断して優先診療する。優先順位:【赤】→【黄】→【緑】

1-4 反省会で指摘いただいたこと

- ・カルテボックスの色が分かりにくい 色別の箱を→色別のシートを貼って置く。
- ・シューズカバーは滑る→発災時は土足になると考えられるが、雨天時はつゆなどにより滑るので、訓練時は、上履き必須などの案内に工夫が必要。
- ・椅子は総個数をまとめて出して保健室近くに置いたうえで、個々の担当が運んだ方がよい
- ・部屋の種類表示(トリアージ別)も紙の色で示してほしい→今日の結果、診療室一か所に集まるので色表示はしなくてもよさそうだ
- ・→案内表示はテープで廊下に貼って案内すべきだ。→トリアージ色別にする必要はないので養生テープで家庭科室に案内するような導線を廊下の床に貼って置くと便利ではないか?
- ・倉庫の配置図を扉に貼って欲しい→医療に必要なものは、部屋ごとにそろえるものが決まっているところがあるので、部屋ごとにパッケージ化しておくのがよい。配置図も作成し、置き場所表示も倉庫内で出来る限り行う。
- ・診療中の旗などが見つからない。→青葉区役所の池田さんと運営委員とで、日を調整して点検する。
- ・マニュアルを作成すべきだ。→マニュアルはあるが、アップデートされていないし、分厚くてすぐに使いこなせない。他拠点(元石川小学校等)のマニュアル等を参考にしながら、来年度の委員会にて、議論アップデート出来るよう作成しておく。
- ・駐車場担当、会場案内の表記などが間に合っていない。→事前に担当者を決めて実施してもらうよう手配準備が必要
- ・北門を開放しているが、西門から入り運動場へ入り込んだ車があるので危険だ→西門にも案内人の手配が必要
- ・会長、事務局側で準備はしているが、展開不足準備不足は否めないなので、主要メンバを決め、定例会による活動で組織的に活動し準備してほしい。→主要メンバ選出、定例化を考慮する

2. 次回訓練に向けての取り組み

次回の定点診療拠点開設訓練では「トリアージ」を組み入れたレベルの訓練を実施したい。そのために以下の改善策に重きをおいて、それぞれが役割を担えるよう取り組みたい。

- ・自治会関係者はじめ地域住民へ「災害時安否確認とケガ人や病人への対応」「災害時地域定点診療拠点の開設と役割」「一人一人が備える薬と応急処置法」をテーマに情報提供し、認識を高める。
- ・拠点運営委員会の定例役員会で中長期計画をつくり、活動をPDCAで着実にレベルアップをはかる。
- ・データベース化できた防災備蓄品の見える化をさらに漸進させる。倉庫内の配置決めと誰でも見つけられる表記を工夫する。
- ・他の定点診療拠点訓練から学ぶ、災害時地域医療検討委員会で学ぶ、関係諸団体とのコミュニケーションをはかる。
- ・拠点運営委員の人材育成。若い世代へのアプローチと長年にわたり担ってもらえる人材の発掘。

3. 山本先生のオリエンテーションで学んだこと(対医療関係者への説明含む)

以下、お話の取り違いや語句/表現が適当でなければご指摘ください。自治会関係者ほか地域住民への報告を予定しています。よろしくお願い致します。

【災害時の医療体制について(横浜市)】

- ・震度 6 弱で医療機関が集まり、医療機関内の安否確認が行われます(山本先生が青葉区役所前の休日医療所 2F に詰めて行く)。そして震度 6 弱でも診療所・薬局が開けるところについては、“診療中”の黄色い旗を立てて診療を行います。自分のところで診療できない方が、最寄りの定点診療拠点に集まって診療を行います。定点診療拠点でも診療開始時に旗を立てます。ちなみに自分のところで診療できるためには医師、スタッフ、通電が必要であり、震度 6 弱では停電する可能性が高いので即日診療可能なところは考えにくく、通電してから条件が整ったところから診療できる旗が立つだろうと考えています。
- ・震度 5 強以上で、拠点には避難者早期受け入れ等の運営支援のため、それぞれ近隣に居住する職員(青葉区職員 2 名、局職員 2 名)が“直近動員者”として派遣される。
- ・定点診療拠点ではたいした診療ができません。点滴ぐらいだと考えてください。ここへ来れば必ず助かるわけではありません。症状が悪い方は拠点ではなく直接病院へ運んでください。
- ・定点診療拠点の開設期間は 3 日間です。そのあと DMAT が引き継ぐと思われます。あるいは地域の診療所の診療再開が多くなれば役割を終えます。

【災害時、自身あるは身近な方がけがをして診療を受けたいとき】

- ・発災後、自宅などで「意識がない」「出血で動けない」など、【赤】や【黄】に相当する負傷者はこの拠点に搬送せず直接病院へ運ぶべき。これについては住民に周知して欲しい。参考:「市民トリアージ」というものもある。

【トリアージについて】

- ・「災害医療」原則: 当地域でどれだけ多くの命の数を救うか? 例えば、【黒】には医療の時間を割かず、【赤】を優先して診るなど。
- ・実際は【赤】【黄色】患者がこの拠点まで来ることは少なく、多くが【緑】と予測している。
参考: 骨折や出血が多くても歩いて来られた人はすべて【緑】。
- ・まず、(昇降口で)トリアージタグに患者番号、氏名、年齢、性別、住所、電話、トリアージ実施月日・時間(重要)、トリアージ実施者氏名、実施場所を記入する。本人から聴取できないときは「何歳ぐらい男性」などわかる範囲で記入。実際は医師はトリアージしたら、所見まで記入しきれないので血圧やバイタルに関しては歯科医師会の先生にお手伝い願いたい。診察までにすべてのトリアージタグの記入を終えていなければならない(搬送先は除く)。
- ・トリアージタグは患者の右手に付けるのが原則(右手なければ、→左手→右足→左足→首の順位)
- ・診療を受けるまでにトリアージタグに必要事項(搬送先除く)がすべて書き込まれていなければならない。→医師ですべて書き込めないで、歯科医師会の先生にもお手伝いいただきたい。
- ・一人の患者について「トリアージタグ」「診療録」「無線連絡票」の患者番号が一致しないといけない(訓練対象: チェック事項)。

【診察について】

- ・患者のすべてを医師自身が診なければならないわけではない。打撲や骨折患者は柔道整復師に任せられるのなら

ば任せてください。

・【赤】の患者を診察し、点滴などをして搬送待機室で待たせる。

・【黄】の患者も多くは、点滴などをして搬送することになるので待機室で待たせる。

・観察者の必要性：点滴をして搬送待機室で待たせている間に急変することもあるので観察者が様子を見守る必要がある。

・【緑】は診療後、体育館移動や帰宅してもらおう。

・「診療録」への記入はここで行う。「無線連絡表」への記入もここで行うのがいい。呼吸、脈拍、血圧、意識などの記入はトリアージの時に書いてもらっているがここでも記入する。その時の測定は医師だけで手が足りないときは歯科医師にもお手伝いいただきたい。記入後は、拠点スタッフに渡して本部室（無線室）への伝令を頼む。その後、当該患者を拠点スタッフが搬送待機室へ運ぶ。

・想定される「やけど」「切り傷」用にあらかじめ薬などをセットで準備しておいてくれると有り難い（現状ではセットできるだけの量が用意されていない）。

・断水のときは当拠点の給水タンクから使用する。照明に夜間発災時には明るくなるまで拠点へは移動しないことになっているので大丈夫だろう。電源は欲しいので発電機が必須。

【薬について】

・普段、12 拠点の医療品棚には治療に使う用品（包帯、絆創膏、生理食塩水など）が備わっています。ただし、取扱が難しい薬品はなく、そうしたものは薬剤師会が参集時に持参します。それでも量は驚くほどわずかで、（ケガの度合いによりますが）10 人分程度と考えてください。また、種類も限られます。例えば、糖尿病の薬は1種類しかなく、当人に合った薬はもらえないと考えてください。加えて、地盤のしっかりした青葉区は災害時に他県からの（医薬品含む）物資の物流拠点及び DMAT(*1)の参集拠点になる予定です。それゆえ、青葉区に集まった DMAT が医薬品を持って他区へ行ってしまふ可能性もあります。それだからではありませんが、特に恒常的に薬の処方を受けている方、高齢者、小さな子供を抱えている方は自己責任で普段から薬を確保しておいてください。また、自治会として災害時の医薬品を備蓄しているところもありますので参考にしてください。

・大きな切り傷で縫合が必要な場合でも、消毒液（水）と家庭用のカット判やテープでも応急措置ができ、ダンボールを使って骨折時の添え木に代わる手当ても可能です。一人一人が公的な医薬品の備蓄に頼らないで、自己責任で応急処置ができるようになることも大切です。

・横浜市と薬剤師会は協定を結んでいて、薬が足りない場合は市から要請を出すことにはなっています。

【無線通信について】

・公衆電話網が機能しない場合、ここから外部への通信手段は MCA 無線、衛星電話、小型無線（トランシーバー）です。

・MCA 無線の相手先は青葉区福祉保健センターのみで、当拠点の状況報告や搬送したい患者の伝達と搬送先の指示をもらうために使用します。搬送したい患者については青葉区医療アドバイザーからの指示を仰ぎます。基本的には重傷者は昭和大学藤が丘病院、中等傷者については青葉さわい病院、横浜総合病院、江田記念病院、横浜新都市脳神経外科病院などが受け入れる予定です。この無線は行政や DMAT なども使用するので輻輳（ふくそう）があるかもしれません。また、青葉区福祉保健センターは拠点で搬送を待つ患者の搬送先を指示するのみで、拠点以外の自宅からの搬送相談には応じません。

通話方法は容易ですが、青葉区福祉センターは 12 拠点を相手にするので、3 分すると一旦切れる仕組みになってい

ます。基本的に発災後に来ていただける医療関係者は使い方がわからないので、拠点スタッフが習得しておいてその場で教えることになります。

- ・ここにある衛星電話も通信手段として使えるが、相手先も衛星電話が必要(青葉区役所にあり)。
- ・青葉区の定点診療拠点は全 12 箇所
- ・小型無線機(トランシーバー)3 台はこの拠点で拠点内通信や巡回時に使う。
- ・青葉区医師会の山本先生は青葉区役所前の休日診療所 2F を本部にアマチュア無線で会員と通信を行う。
- ・青葉区医師会のイトウ先生は医療アドバイザーとして、区役所内で MCA 無線を通じて拠点と通信を行う。
- ・日体大にヘリポートがあるのでそこから搬送ということもありえるが、そこまでの搬送は課題。

【巡回医療について】

- ・巡回対象に、まず美しが丘中学校、美しが丘東小学校がある。
- ・巡回用に 2 台の小型無線機(トランシーバー)と 2 つの医療バッグがあるので、2 班で編成できる(巡回に行かれる医療関係者の人数が足りていることが前提)。医療バッグ(現時点:パルスメータ、聴診器、血圧計、ペンライト、手袋、ホイッスル等が入っている)に入れる薬は定点診療用から 1 割程度転用する。あらかじめ「診療録」「トリアージタグ」は入れておく。医療器具は医師会で用意してバッグに入れておく(1つ未収納あり→池田さん対応)。医療器具については(医療関係者の判断で?)不足と思われるものがあれば事前に医師会に相談する。
- ・小型無線機の使い方を習得しておく。1 対1であり、通話はまず自分を名乗り、用件を話が終わったら必ず“以上”と言ってから応答を待つ。
- ・参考:震度 6 弱の地震があった場合の青葉区の死者予測は 2,3 人程度。
- ・震度 6 弱では道路事情が車でスムーズに移動できる状況ではないだろう。拠点運営委員、自治会関係者は車を使えない状況で搬送をどうするか策を練っておく必要があります。
- ・大きな災害では救急車や消防車は呼んでも来ないと考えてください。

※1:DMAT とは「災害急性期に活動できる機動性を持った トレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字をとって略して DMAT(ディーマツト)と呼ばれています。

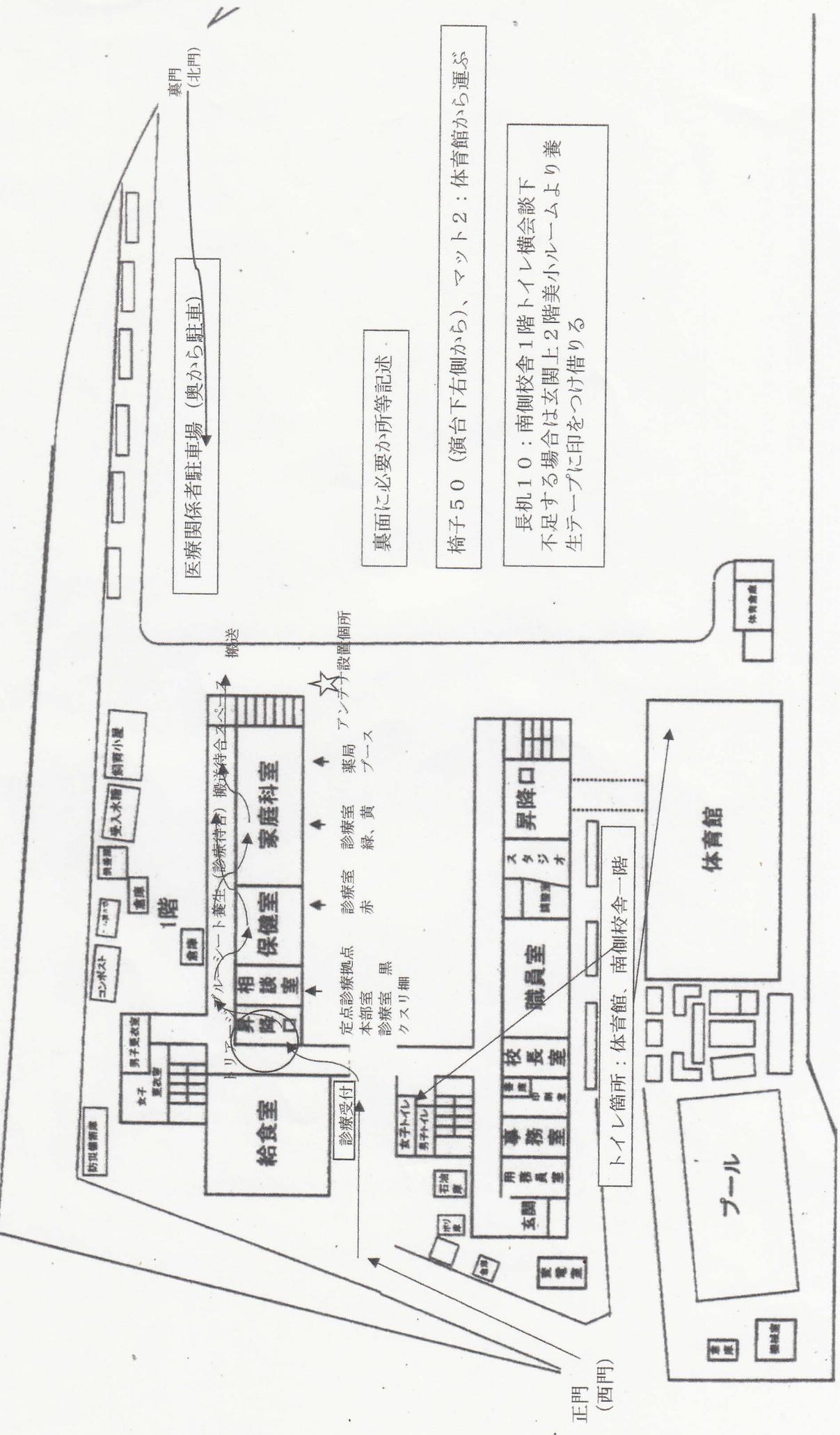
医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね 48 時間以内)に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

阪神・淡路大震災で災害医療について多くの課題が浮き彫りとなり、この教訓を生かし、各行政機関、消防、警察、自衛隊と連携しながら救助活動と並行し、医師が災害現場で医療を行う必要性が認識されるようになり、厚生労働省により、災害医療派遣チーム、日本 DMAT が平成 17 年4月に発足しました。

現在では、現場の医療だけでなく、災害時に多くの患者さんが運ばれる、被災地の病院機能を維持、拡充するために、病院の指揮下に入り病院の医療行為を支援させて頂く病院支援や、首都直下型、東海、東南海・南海地震など想定される大地震で多数の重症患者が発生した際に、平時の救急医療レベルを提供するため、被災地の外に搬送する、広域医療搬送など、機動性、専門性を生かした多岐にわたる医療的支援を行います。

最後になりましたが、医師会様、歯科医師会様、薬剤師会様、柔道整復師会様、アマチュア無線非常通信協力会様、青葉区役所様、美しが丘小学校、他皆様のご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

— 以上 —



真門 (北門)

医療関係者駐車場 (奥から駐車)

裏面に必要か所等記述

椅子50 (演台下右側から)、マット2: 体育館から運ぶ

長机10: 南側校舎1階トイレ横会議下
不足する場合は玄関上2階美小ルームより養生テープに印をつけ借りる

搬送

★ アンテナ設置箇所

薬局
ブース

診療室
緑、黄

診療室
赤

定点診療拠点
本部室 黒
診療室 クスリ棚

トイレ箇所: 体育館、南側校舎一階

正門 (西門)

体育館

プール

書庫

備品庫

体育倉庫

美しが丘小学校地域防災拠点

救護班長用アクションカード (青葉区で震度6以上の場合)

救護班員はだれでも班長になることも
想定して行動してください

5. 定点診療拠点会開設支援

校門(2ヶ所)に診療所開設のぼりを
掲示する(指示)

校門から定点診療拠点入口に至る経路
に案内表示を掲示する(指示)

1. 防災倉庫の開錠・資機材搬出

地域防災拠点に参集した救護班員で
防災倉庫の鍵を所持する人は開錠する

救助に必要な資機材、定点診療拠点
の開設に必要な資機材を搬出する
【定点診療拠点用資機材リストで確認する】

6. 救護班員の配置確認と報告

救護班の各担当が所定の場所に待機し
各担当のアクションカードに記載した
準備を完了したか確認する

救護班員の配置完了を院長に報告する
定点診療拠点運営支援を開始したことを
地域防災拠点運営委員長に報告する

2. 定点診療拠点の設営

定点診療拠点開設に必要な資機材を
保健室前廊下に搬入する

定点診療拠点レイアウト図をもとに
資機材を配置する

7. 院長、定点診療所長との窓口

救護班長は常に院長、定点診療所長の
近くに待機して、指示を受ける

院長、定点診療所長の指示内容を救護
班の担当者に伝え、指示する

3. 救護班の編成

救護班長(又は代行者)は参集した
救護班員を確認する

救護班員から、受付担当、通信担当
搬送担当、患者案内担当を指名し、
担当ごとのアクションカードを渡す

8. 救護班員の活動状況把握

救護班の各担当がそれぞれの持場で
適切に活動しているか、人員の過不足
がないか確認する

人員の過不足があれば調整する

4. 院長への報告

院長となる医師から、定点診療拠点開設
の有無を確認する

・開設の場合は、院長に参集した救護班員
の編成を報告する

・開設しない場合は、通常の救護班活動を行う

9. 医療チームの生活支援

医療チームの休息場所、食事等の
必要数量を院長に確認する

地域防災拠点運営本部に医療チーム
の休息場所、飲食の提供を要請する

美しが丘小学校地域防災拠点
平成28年度

“備蓄品の見える化”
を通じて、家庭での備蓄を促す！

～いざという時にあわてないように、
常時、リアルタイムに備蓄状況を把握します～



2016/07/02

担当: 政野祐一

1

昨年度に取り組んだ“備蓄品の見える化”を一步進めて、
皆様にも備蓄状況のデータを公開いたします。

- 現時点の美小備蓄庫内にある備蓄品/資機材データです。
- 消費期限があるものは期限を明記してあります。
- **赤字**は規定数を下回っているもの、消費期限を過ぎたもの、定期稼働点検がなされていないものです。
- 医療拠点として備えている薬品なども載せてあります。

※いずれもわずかな備蓄量であることから、各ご家庭での
備蓄がまずは重要であることがわかります！

2016/07/02

2

今年度も備蓄品の管理をしっかり行います!

- 入庫、出庫はリアルタイムにデータに反映する。
- 定期的に資機材の稼働点検を行う。
- 消費期限を迎えるものは有効利用する。
- 庫内の配置を誰でもがわかるようにいつも整理整頓して、
掲示する。
- こうした管理手法を隣接する防災拠点へも提案する。
→将来的には、地区全体での備蓄状況をリアルタイムに
掌握/情報共有化したい。

2016/07/02

3

アクセス方法

①パソコン、スマートフォンから下記URLへ
<https://ssl.e-kuranosuke.com/aoba/p/index.html>

②ログイン名とパスワードを入力

防災備蓄品管理システム

横浜市
青葉区美しが丘地区

ログイン名

パスワード

ログイン名を保存

パスワードをお忘れの場合は システム管理者 へお問い合わせください。

e-kuranosuke.com Copyright (C) 2015 Kohrikugroup.

2016/07/02

4

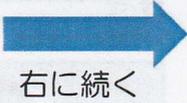
美小防災備蓄品の総数量

防災備蓄管理システム [備蓄状況]

拠点 場所 2016/06/30 の状態を表示 管理区分 青葉区

表示 総数量 正常 情報 注意 警告 警報

ID	保管地点	設定人数	最終確認日	エンジンカッター	水圧高	粉じんク	浸乳機	おがく	クレーン(保存パン)	スプ(5g入り)	発電機(ガソリン式)	発電機(介位トホン式)	通信シャッキ	投光機	投光機用ランプ	スコップ	救命ロープ	つるし
---	拠点合計	1,000	2016/5/18	2	2,736	19	40	460	2,000	240	5	1	1	5	3	4	5	2
1	美しが丘小学校	1,000	2016/5/18	2	2,736	19	40	460	3,470	240	5	2	1	3	4	5	2	



美しが丘小学校地域防災拠点の資機材/備蓄品の名称と総数一覧

2016/07/02

5

防災備蓄管理システム [保管場所別備蓄品状況]

001 美しが丘地区 防災倉庫 ● 緊急避難所(災害) ● 所在地 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2丁目2-9 担当番 政野祐一

001 美しが丘小学校 長機避難所 ● 緊急避難所(水害) ● 連絡先 045-901-3408 担当番連絡先 045-515-4913

すべて 2016/06/30 の状態を表示

分類	画像	コード	品名	有効期限	最終確認日	期切れ予定数	期切れ数	備蓄数	備蓄単位	管理数	管理単位	数値(入数)	数値単位
レスキュー通信シャッキ		4050	レスキュー通信シャッキ	2018/04/30	2015/07/21	0	0	1	1	1	1	1	1
88式投光機		4030	88式投光機	2018/04/30	2015/07/21	0	0	3	3	3	3	1	1
投光機用ランプ		4040	投光機用ランプ	2018/04/30	2015/07/21	0	0	3	3	3	3	1	1
スコップ		4130	スコップ	2018/04/30	2015/07/21	0	0	5	5	5	5	1	1
救命ロープ		4130	救命ロープ	2018/04/30	2015/07/21	0	0	2	2	2	2	1	1
つるし		4100	つるし	2018/04/30	2015/07/21	0	0	5	5	5	5	1	1

←備えている救助資機材

おもむつの備蓄状況→

防災備蓄管理システム [保管場所別備蓄品状況]

001 美しが丘地区 防災倉庫 ● 緊急避難所(災害) ● 所在地 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2丁目2-9 担当番 政野祐一

001 美しが丘小学校 長機避難所 ● 緊急避難所(水害) ● 連絡先 045-901-3408 担当番連絡先 045-515-4913

乳幼児用 おむつ 2016/06/30 の状態を表示

分類	画像	コード	品名	有効期限	最終確認日	期切れ予定数	期切れ数	備蓄数	備蓄単位	管理数	管理単位	数値(入数)	数値単位
乳幼児用 おむつ		2143	乳幼児用 おむつ (Big)	2018/04/30	2015/07/21	0	0	50	枚	1	箱	50	枚
乳幼児用 おむつ		2140	乳幼児用 おむつ (新生児用)	2018/04/30	2015/07/21	0	0	150	枚	1	箱	150	枚
乳幼児用 おむつ		2141	乳幼児用 おむつ (Sサイズ)	2018/04/30	2015/07/21	0	0	150	枚	1	箱	150	枚
乳幼児用 おむつ		2142	乳幼児用 おむつ (Mサイズ)	2018/04/30	2015/07/21	0	0	450	枚	3	箱	150	枚
乳幼児用 おむつ		2144	乳幼児用 おむつ	2018/04/30	2016/02/18	0	0	50	枚	1	箱	50	枚
乳幼児用 おむつ		2145	乳幼児用 おむつ (24枚入り)	2018/04/30	2016/03/18	0	0	48	枚	2	袋	24	枚

2016/07/02

6

期限切れの備蓄品リスト

防災備蓄品管理システム[保管場所別備蓄品状況]

001 美しが丘地区 防災倉庫 ● 緊急避難所(風害) ● 所在地 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2丁目29 担当者 政野祐一
 001 美しが丘小学校 長期避難所 ● 緊急避難所(水害) ● 連絡先 045-901-3408 担当者連絡先 045-515-4913
 すべて 2016/06/30 の状態を表示
 画像イメージを表示 正常 期限切れ 期限切れ間近
 新規登録 ファイル出力 印刷 表示更新 表示しているデータの日時 2016/6/30 14:22:37

分類	コード	品名	有効期限	最終確認日	期限切れ 予定数量	期限切れ 数量	備蓄 数量	備蓄 単位	管理 数量	管理 単位	数量 (入数)	数量 単位
ガソリン	4240	ガソリン携行缶 (10リットル)	2016/03/31	2015/07/21	0	10	10	リットル	1	缶	10	リットル
ガソリン	4241	ガソリン携行缶 (3リットル)	2016/03/31	2015/07/21	0	3	3	リットル	1	缶	3	リットル
ガソリン	4242	ガソリン (1リットル)	2016/05/19	2016/05/18	0	3	11	リットル	11	缶	1	リットル
混合ガソリン (1L) 缶	4250	混合ガソリン (1リットル)	2016/03/31	2015/07/21	0	1	1	リットル	1	缶	1	リットル
4サイクルエンジン オイル (3L) 缶	4290	4サイクルエンジンオイル (3リットル)	2016/03/31	2015/07/21	0	3	3	リットル	1	缶	3	リットル
粉ミルク	1040	粉ミルク (19個入り)	2016/03/31	2015/07/21	0	19	19	缶	1	箱	19	缶
ほ乳瓶	1050	ほ乳瓶 (40本入り)	2016/03/31	2015/07/21	0	40	40	本	1	箱	40	本

2016/07/02

7

防災備蓄品管理システム[保管場所別備蓄品状況]

001 美しが丘地区 防災倉庫 ● 緊急避難所(風害) ● 所在地 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2丁目29 担当者 政野祐一
 001 美しが丘小学校 長期避難所 ● 緊急避難所(水害) ● 連絡先 045-901-3408 担当者連絡先 045-515-4913
 すべて 2016/06/30 の状態を表示
 画像イメージを表示 正常 期限切れ 期限切れ間近
 新規登録 ファイル出力 印刷 表示更新 表示しているデータの日時 2016/6/30 14:24:27

分類	コード	品名	有効期限	最終確認日	期限切れ 予定数量	期限切れ 数量	備蓄 数量	備蓄 単位	管理 数量	管理 単位	数量 (入数)	数量 単位
飲料水 (340ml缶 缶詰)	1010	飲料水 (340ml×24缶 缶詰)	2016/12/31	2015/07/21	0	0	2,736	本	114	箱	24	本
粉ミルク	1040	粉ミルク (19個入り)	2016/03/31	2015/07/21	0	19	19	缶	1	箱	19	缶
ほ乳瓶	1050	ほ乳瓶 (40本入り)	2016/03/31	2015/07/21	0	40	40	本	1	箱	40	本
お茶	1030	お茶 (250g×20袋)	2016/02/31	2015/07/21	0	0	460	袋	23	箱	20	袋
クラッカー-保存 パン	1020	非常災害用クラッカー 26枚入 (88g)×70食 (35食×2食)	2016/07/31	2016/05/18	840	0	1,330	食	19	箱	70	食
クラッカー-保存 パン	1021	缶入り保存パン 1箱20缶入り (1 缶100g)	2017/03/31	2016/05/22	0	0	760	食	38	箱	20	食
クラッカー-保存 パン	1022	パンチョコチップ 1箱20缶 (1缶 50g×2)	2017/03/31	2015/07/21	0	0	1,180	食	59	箱	20	食
クラッカー-保存 パン	1023	ハスカップ (保存パン) 1箱20食 (1食 55g×2=110g)	2019/03/31	2015/07/21	0	0	200	食	10	箱	20	食

← 水・食料の備蓄状況

防災備蓄品管理システム[保管場所別備蓄品状況]

001 美しが丘地区 防災倉庫 ● 緊急避難所(風害) ● 所在地 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2丁目29 担当者 政野祐一
 001 美しが丘小学校 長期避難所 ● 緊急避難所(水害) ● 連絡先 045-901-3408 担当者連絡先 045-515-4913
 クラッカー-保存パン 2016/06/30 の状態を表示
 画像イメージを表示 正常 期限切れ 期限切れ間近
 新規登録 ファイル出力 印刷 表示更新 表示しているデータの日時 2016/6/30 14:49:11

分類	コード	品名	有効期限	最終確認日	期限切れ 予定数量	期限切れ 数量	備蓄 数量	備蓄 単位	管理 数量	管理 単位	数量 (入数)	数量 単位
クラッカー-保存 パン	1020	非常災害用クラッカー 26枚入 (88g)×70食 (35食×2食)	2016/07/31	2016/05/18	840	0	1,330	食	19	箱	70	食
クラッカー-保存 パン	1021	缶入り保存パン 1箱20缶入り (1 缶100g)	2017/03/31	2016/05/22	0	0	760	食	38	箱	20	食
クラッカー-保存 パン	1022	パンチョコチップ 1箱20缶 (1缶 50g×2)	2017/03/31	2015/07/21	0	0	1,180	食	59	箱	20	食
クラッカー-保存 パン	1023	ハスカップ (保存パン) 1箱20食 (1食 55g×2=110g)	2019/03/31	2015/07/21	0	0	200	食	10	箱	20	食

2016/07/02

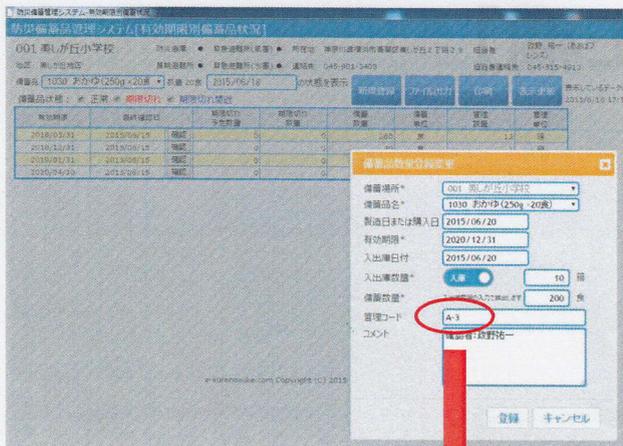
8

エンジンカッター		4000	エンジンカッター	2018/04/30	2015/07/21 確認	0	0	2	台	2	台	1	台
発電機 (ガソリン式)		4010	発電機 (ガソリン式)	2018/04/30	2016/03/18 確認	0	0	5	台	5	台	1	台
発電機 (カセットボンベ式)		4020	発電機 (カセットボンベ式)	2018/04/30	2016/03/18 確認	0	0	2	台	2	台	1	台
レスキュー油圧ジャッキ		4050	レスキュー油圧ジャッキ	2018/04/30	2015/07/21 確認	0	0	1	台	1	台	1	台
SB式投光機		4030	SB式投光器	2018/04/30	2015/07/21 確認	0	0	3	台	3	台	1	台
投光機用ランプ		4040	投光機用ランプ	2018/04/30	2015/07/21 確認	0	0	3	個	3	個	1	個

直近の稼働確認日

2016/07/02

9



収納した棚番号

入在庫/点検管理者のみ

← 入庫 画面



出庫 画面 →

2016/07/02

10

美しが丘地区全体の防災備蓄状況

防災備蓄管理システム-備蓄状況

防災備蓄管理システム[備蓄状況] user ログアウト

拠点 場所 2016/06/30 の状態を表示 管理区分 青葉区 ファイル出力 印刷 表示更新 表示しているデータの日時 2016/6/30 14:20:46

表示 総数量 正常 情報 注意 警告 警報

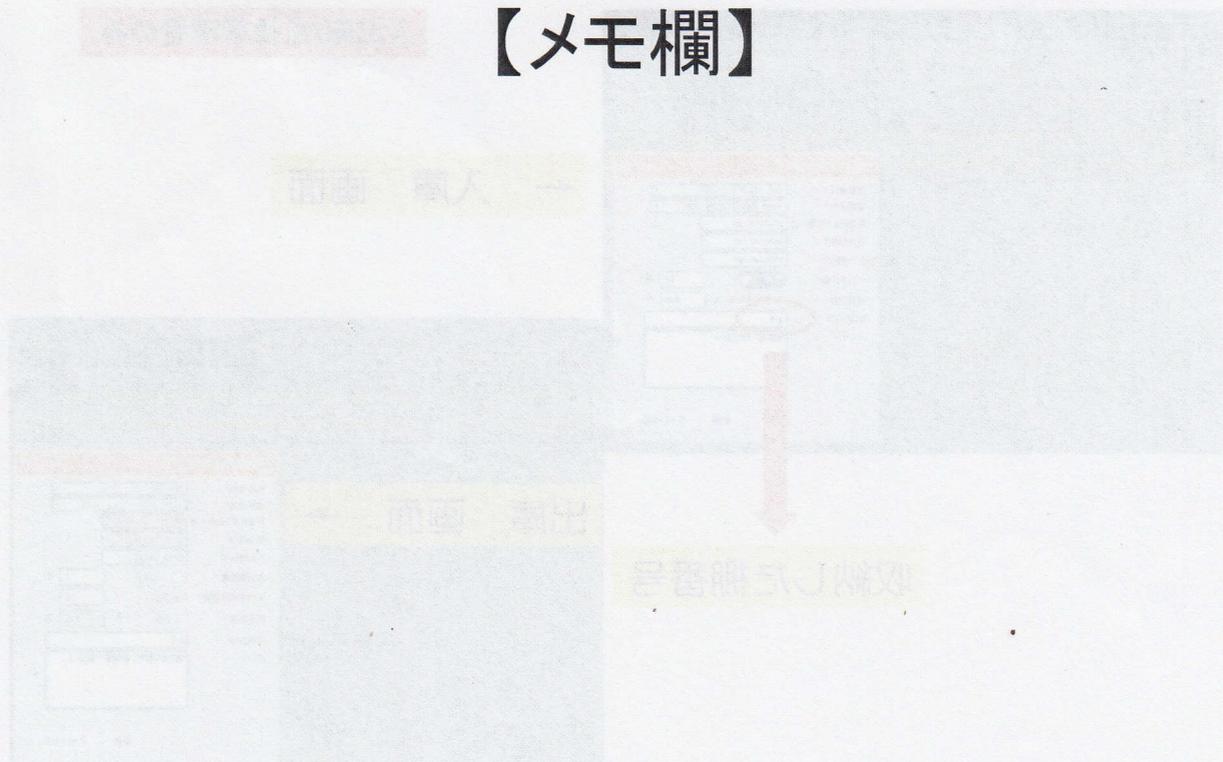
ID	保管拠点	設定人数	最終確認日	エンジンカッター	水田用	粉ミルク	保乳瓶	おかゆ	クッキー(保存パック)	スープ(5g入り)	発電機(ガソリン式)	発電機(ガソリン式)	油圧シャッキ	投光機	投光機用ランプ	スコップ	救命ロープ	つるはし
---	拠点合計	1,000	2016/5/18	2台	2000本	19缶	19個	460食	2000包	220食	5台	1台	1台	5台	4	5本	5本	2
1	美しが丘小学校	1,000	2016/5/18	2	2,736	19	40	460	3,470	240	5	2	1	3	4	5	5	2



- ・美しが丘中学校
- ・美しが丘東小学校

隣接する防災拠点のデータを加えると、美しが丘地区全体と拠点ごとのリアルタイムの状況が把握できる。

【メモ欄】



平成 28 年度 横浜防災ライセンス

資機材取扱講習会 受講者募集

横浜市では、身近な小中学校など 458 か所を震災時の避難場所に定め、被災した住民の避難生活の場所や、住民による救助・救護活動拠点として整備を進めています。

当講習会では、地域防災拠点に備蓄した生活・救助資機材の取扱を学び、受講後に「資機材取扱リーダー」防災ライセンス証をお渡しします。受講後の資機材取扱リーダーが各地域防災拠点の防災活動に参画することで、地域防災力の向上を図っています。

資機材取扱リーダーには、

① 避難生活に必要な資機材※を取り扱う「生活資機材取扱リーダー」
※仮設トイレ、移動式炊飯器、応急給水栓（災害用地下給水タンク）

② 救助活動に必要な資機材※を取り扱う「救助資機材取扱リーダー」
※エンジンカッター、レスキュージャッキ、発電機、投光器、工具類

の 2 種類があり、それぞれ半日単位の講習会を受講します。（「1 種類のみ受講」又は「両方受講」を選ぶことができます）

1 申込み

(1) 太枠内を記入・チェックした申込用紙を、往復はがき「往信」裏面に貼り付けます。

申込用紙 （↓切り取り線）

希望講習会	第 回 月 日 学校	希望講習(□にチェック) <input type="checkbox"/> 生活・救助の両方 <input type="checkbox"/> 生活のみ <input type="checkbox"/> 救助のみ
(ふりがな) 氏名		
住所	〒 -	
電話番号		
居住地の 地域防災拠点		地域防災拠点
受講履歴 (□にチェック)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再受講 (受講年度:平成 年度、リーダー証番号 - -)	
同意事項 (□にチェック)	<input type="checkbox"/> 当申込用紙に記入した情報が、受講後に居住地の地域防災拠点運営委員会・区役所・消防署へ提供されることについて、同意します。	

(2) ご自身の住所・氏名を往復はがき「返信」表面に記入し、下記宛先へ送ります。

- 申込用紙は、受講希望者 1 人につき 1 通が必要です。
- 記入・チェック漏れがある場合は受付が出来ませんので、ご注意ください。

【宛先】〒231-0017 中区港町 1-1 横浜市総務局危機管理課防災ライセンス担当

2 会場・日程等

回	開催日(雨天決行)	会場	住所	申込締切(必着)
1	平成 28 年 10 月 2 日(日)	笠間小学校	栄区笠間3-28-1	平成 28 年 9 月 9 日(金)
2	平成 28 年 10 月 22 日(土)	市ケ尾小学校	青葉区市ケ尾町 1632-1	平成 28 年 9 月 30 日(金)
3	平成 28 年 10 月 30 日(日)	潮田小学校	鶴見区向井町3-82-1	平成 28 年 10 月 7 日(金)
4	平成 28 年 11 月 19 日(土)	消防訓練センター	戸塚区深谷町 777	平成 28 年 10 月 28 日(金)
5	平成 28 年 11 月 27 日(日)	栗田谷中学校	神奈川区栗田谷3-1	平成 28 年 11 月 4 日(金)
6	平成 28 年 12 月 4 日(日)	桜岡小学校	港南区大久保1-6-43	平成 28 年 11 月 18 日(金)
7	平成 29 年 3 月 5 日(日)	金沢小学校	金沢区町屋町 26-26	平成 29 年 2 月 10 日(金)
8	平成 29 年 3 月 18 日(土)	保土ヶ谷中学校	保土ヶ谷区釜台町3-1	平成 29 年 2 月 24 日(金)
9	平成 29 年 3 月 26 日(日)	新吉田第二小学校	港北区新吉田町 491-1	平成 29 年 3 月 3 日(金)

●居住区に関わらず、どの回でも受講できます。

●会場内に受講者用の駐車場はありません。会場内へ自家用車を乗り入れることはできません。

3 募集人数(定員)

生活資機材取扱講習会、救助資機材取扱講習会：各 48 人(両方の受講ができます)

● 申込多数の場合は、下記優先順位をつけて抽選し、受講者を決定します。

《優先順位》① リーダー数が少ない地域防災拠点(10人以下)*における受講希望者

② 新規受講希望者(16歳以上の横浜市民)

※地域防災拠点ごとのリーダー数はホームページでご確認ください

(<http://www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/kikikanri/bousailicense/ri-da-risuto.pdf>)

● 受講可否(抽選結果)は、講習日のおおむね2週間前に返信ハガキでお知らせします。

4 スケジュール(予定)

8:30-9:00	受付1
9:00-12:00	開講、生活資機材取扱講習会、(救助資機材取扱講習会)*
12:30-13:00	受付2(午後の講習だけを受講する方)
13:00-16:00	救助資機材取扱講習会、(生活資機材取扱講習会)*、閉講

※受講人数が多い場合は、各講習会を1日に2回開催します

5 その他(同意事項など)

習得された知識・技術を地域防災力の向上に活用するため、受講者の氏名・住所・電話番号を、居住地の地域防災拠点運営委員会・区役所・消防署へ提供することについて、ご同意をお願いします。

これにより、地域防災拠点運営委員会や消防署などから訓練参加などについて連絡が入ることがありますので、積極的に御参加ください。

問合せ 横浜市総務局危機管理課 (TEL045-671-2011 FAX045-641-1677)